

臨床研究

中枢性脳卒中後疼痛に対する脊髄刺激療法の 有効性に関する多施設共同調査

1. 研究の対象

中枢性脳卒中後疼痛に対して脊髄刺激療法を受けた患者さんです。

2. 研究目的・方法

中枢性脳卒中後疼痛は、通常の薬物治療のみでは治療が困難な代表的な難治性慢性疼痛疾患です。難治性疼痛に対する非薬物治療として脊髄刺激療法が行われていますが、中枢性脳卒中後疼痛に対する脊髄刺激療法のまとまった報告は多くはありません。そこで、この研究では、本邦における中枢性脳卒中後疼痛に対する脊髄刺激療法の実施状況を多施設で調査し、その有効性について検討します。患者さんのカルテなど診療情報より、患者さんの背景因子（年齢や病状など）と治療成績などの情報を収集します。収集した情報をもとに、治療成績を集計し、患者背景と治療成績の関係などを検討します。このような検討を行うことで、今後の患者選択や治療適応などの参考となり、難治性疼痛の病態や治療法のメカニズムに対する理解が深まり、治療成績が向上することを期待しています。

3. 研究に用いる情報の種類

過去に行われた手術の内容と治療成績（痛みの状態など）、患者さんの年齢や性別、痛みの部位などの患者さんの背景因子などの情報を用います。これらの情報は、匿名化して研究に用います。

4. 外部への情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各研究施設の研究担当者が保管・管理します。

5. 研究組織（研究責任者）

大阪大学医学部 脳神経外科	細見 晃一
日本大学医学部 脳神経外科	山本 隆充
広島大学医学部 脳神経外科	栗栖 薫
県立広島病院 脳神経外科	竹下 真一郎
倉敷平成病院 脳神経外科	上利 崇
山口大学医学部 脳神経外科	鈴木 倫保
小牧市民病院 脳神経外科	種井 隆文

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院 脳神経外科	細見 晃一
住所：大阪府吹田市山田丘 2-15	電話番号：06-6879-5645（外来）
日本大学医学部附属板橋病院 脳神経外科	山本 隆充
住所：東京都板橋区大谷口上町 30-1	電話番号：03-3972-8111（代表）
広島大学医学部附属病院病院 脳神経外科	栗栖 薫
住所：広島市南区霞 1-2-3	電話番号：082-257-5555（代表）
県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科	竹下 真一郎
住所：広島市南区宇品神田 1-5-54	電話番号：082-254-1818（代表）
倉敷平成病院 脳神経外科	上利 崇
住所：岡山県倉敷市老松町 4-3-38	電話番号：086-427-1111（代表）
山口大学医学部附属病院 脳神経外科	井本 浩哉
住所：山口県宇部市南小串 1-1-1	電話番号：0836-22-2111（代表）
小牧市民病院 脳神経外科	種井 隆文
住所：小牧市常普請 1-20	電話番号：0568-76-4131（代表）

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経機能再生学・脳神経外科学 細見 晃一